

Kyoto AbleY's Men's Club



京都エイブル
ワイズメンズクラブ
Bulletin
— プリテン —

クラブ主題 「サステナブルな活動を」
副題 一伝統を守り、楽しむー

<http://www.e-kyoto.biz/kyoto-able-ys/>

2023.6
第33期1号
NO.337

三 役

会 長 / 山根弘文
副会長 / 山根拓也
副会長 / 上澤正廣
書 記 / 砂地一廣
会 計 / 浅森一恵

国際会長 K・C・サミュエル (インド)

主題 "Into the next 100 Years with FELLOWSHIP&INPACT"
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」
スローガン
「自己を超えて、変化を起こそう」

アジア太平洋地域会長 Shen Chi-Ming (台湾)

主題 "Elegantly Change with New Era"
「新しい時代とともに、エレガントに変化を」
スローガン
"Doing It Right Now"
「今すぐ実行を」

西日本区理事 田上 正 (熊本むさし)

主題 "Know the origin and utilize it in future!"
「原点を知り将来に生かす」
副題 "Stand up Ys Men with our Motto!"
「立ち上がれワイズ モットーと共に」

京都部部长 石倉 尚 (京都キャピタル)

主題 "United by YMCA"
「YMCAで、ひとつになる」

聖 句

わたしが来たのは正しい人を
招くためではなく
罪人を招くためである

(マルコによる福音書2章17節)

会 長 山根 弘文



ワイズメンズクラブに入会して、4年になります。

私の叔父さんに誘われ入会しましたが、コロナの影響もありあまり活動ができていない状況と、ワイズメンズクラブの活動内容を理解していない中ではありますが、メンバー数も少ないこともあり、会長職をお引き受けしました。

経験不足で自信がない中ではありますが、メンバーの皆さんがフォローしてくださると、会長をすることでワイズメンズクラブの活動が理解できると教えていただきましたので、今期全力で職を全うし、頑張っていく所存です。

クラブを運営するのに大事なことは、継続して活動することだと思っております。

継続させるのに大事だと思うことは、メンバー増強だと思います。そのためには、クラブ活動が、有意義なもの、楽しく参加しやすい環境づくりが必要と考えております。

活動エリアが宇治で、なかなかメンバーが集められない環境とっておりましたが、昔は50名近いメンバーがおられたと知り、このままではいけないと思っております。

今期、新しい風を吹込み、集まりやすい、楽しめるクラブづくりに務め、長きに渡って活動ができるよう頑張ります。

強調月間

7月 KICK-OFF / PR

2022年7~2022年12月予定

例会案内	スマイル	BFポイント	ファンド	CSポイント
〈7月例会〉 KICK=OFF・総会(第646回)	〈ニコニコ目標〉 7~6月目標 50,000円	〈7~6月目標〉 現金(1名) 1,500円 切手 OP	〈7~6月目標〉 クラブ内ファンド 100,000円	〈7~6月目標(1名)〉 CS 1,500P TOF 1,000P FF 500P ロールバック 500P Yサユース 2,000P YES 500P
〈8月例会〉 通常例会				
〈9月例会〉 京都部会	〈累計〉 円	〈累計〉 円 現金 円 切手 P	小計 円	
〈10月例会〉 部長公式訪問・通常例会				
〈11月例会〉 4クラブ合同例会			〈累計〉 400,000円	〈累計〉 P
〈12月例会〉 クリスマス例会			じゃがいもファンド 300,000円 クラブ内ファンド 100,000円	

第33期 山根弘丈会長のキックオフ例会が7月26日(火曜日)パルティール京都で開催されました。エイブルクラブでは久方ぶりの40歳代の会長就任でした。

会長あいさつの中で、「私は、ワイズ歴は浅く、活動内容などよく理解できていませんが、会長を受けることで、色々な事業に積極的に参加し、YMCA、ワイズの活動をより深く理解する事ができると思います。」

「現在メンバー数は12名と少なく、コロナの影響もあり事業はしにくい中ではありますが、メンバー増強に取り組みます。」と決意をお話しされました。若い会長を盛り上げていくことが先輩メンバーの使命です。



2022年9月13日(土曜日) 京都ウェスティン都ホテルにおいて第27回京都部会が開催されました。

第一部式典ではオープニングでバナーセレモニーのあと石倉尚京都部長の開会宣言、開会の点鐘で部会の開会となりました。ワイズソング斉唱、藤尾実京都YMCA統括連絡主事の開会の祈禱、聖書朗読、石倉尚京都部長の挨拶、来賓の方々の紹介、京都部役員紹介の後、事業主査から活動方針の発表がありました。

第二部は今回初めてYYフォーラムが行われ、7名のリーダー卒業生による、YMCAでリーダーをしていた時の思い出、社会人としてリーダーの体験が活かされたこと等々、中村彰利主事の司会でお話しされました。

第三部はいつも楽しい懇親会、オープニングは京都大学交響楽団の方々による演奏会で始まりました。食事歓談は6人席でしたが楽しいひと時をひさしぶりに過ごしました。後半ではアピールタイム、参加クラブ紹介(20名)がありました。

今期の部会は京都部が最初とのこと、九州からも多くのワイズメンの参加がありました。エイブルクラブからも6名の参加でしたが楽しいひと時を持つことができました。



久方ぶりパルティール京都の例会は、京都部第27期、石倉尚京都部長公式訪問例会でした。部長のお供は宮崎順巳YMCAサービス・ユース事業主査(zoom参加)、木村拓馬地域奉仕・環境事業主査、八木悠祐京都部書記、京都ToBeクラブから25周年記念例会アピールで船越大祐Ys、山口真一Ysの参加でした。

石倉尚京都部長はキャピタルクラブでエイブルクラブの親クラブでもありその生い立ちをお話しされました。木村拓馬主査は10月30日、京都市市役所前広場で開催されるワイズデーの取組を語られ、宮崎順巳主査はYMCAを支えるワイズメンの役割をZoomにてお話しされました。

食事歓談の後、周年記念例会アピール、HB、HA、ニコニコ、YMCAの歌で閉会点鐘、ロビー階段で記念撮影で散会、コロナの影響もありましたが久しぶりに見たメンバーの笑顔でした。



2022年10月30日(日曜日)午後1時から京都市役所前広場で開催されました。開催の目的は、SDGsに因んだ講演、清掃活動、募金活動、ワイズメンズクラブと京都YMCAの関係、京都市役所による地域奉仕事業の紹介とその支援先をテーマとしたブースの展示、ワイズメンズクラブが取り組んでいる地域奉仕事業のパネル展示、物品販売などのコーナーも設営されました。YMCA国際協力募金活動、鴨川周辺の清掃活動も併せて行われました。

会場にはステージが設けられ、SDGs活動の取り組み発表、トークショウが行われました。今年度のワイズデーは石倉尚京都部長、木村拓馬ワイズデー実行委員長、佐治幹生PR委員長を中心に開催されました。

京都ウイングワイズメンズクラブ35周年記念例会 2022年11月6日(日) 於:ホテルグランヴィア京都

2022年11月6日(日曜日) 16:00 ホテルグランヴィア京都「源氏の間」において200名余りの参加で盛大に開催されました。

ウイングクラブさんは京都府立医大に入院されている子供たちのお世話をされており、子供たちのキャンプ体験をクラブ挙げて取り組まれております。

又、YMCA事業として長年にわたりサバエキャンプ場のお世話をされてましたが昨年閉鎖されました。

35周年記念例会では、ウイングクラブゲスト、メンバー、メネットで90名の方が参加されていました。

懇親会のアトラクションも手作りの寸劇・メンバーのタップダンスなど工夫を凝らしての楽しい例会でした。エイブルから5名で参加しました。

**京都ワイズメンズクラブ75周年記念例会 2022年11月12日(土) 於:ANAクラウンプラザホテル**

2022年11月12日(土曜日) ANAクラウンホテルで250名あまりの参加のもと盛大に開催されました。

京都クラブは1947年11月に設立されたクラブで75年という歴史を刻まれ京都のワイズメンズクラブの先駆者として活動されてこられました。

第一部式典では京都YMCA亀井剛理事長、田上正西日本区理事、佐藤重良東日本区理事が祝辞を述べられました。次に75周年の歩みを紹介されました。

第2部は懇親会、記念プログラムは森友嵐士×岡見紫アコースティックコンサートで盛り上がりました。鍵谷将宏記念例会実行委員長から謝辞、合田太一会長の閉会宣言・閉会点鐘で歴史ある記念例会が閉会されました。エイブルから山根弘丈会長のゲストの方が20名参加され28名でした。

**オータムフェスタ 2022年11月20日(日) 於:京都YMCA笠取リトリートセンター**

2022年11月20日(日曜日)京都YMCAリトリートセンターにおいてオータムフェスタが開催されました。エイブルクラブからは参加しませんでした。

2022年11月29日(火曜日) センチュリークラブ・東稜クラブ・ウエルクラブ・エイブルクラブの合同例会がゲストを含めて50名の参加でエイブルクラブのホストでウエスティン都ホテルにおいて開催されました。4クラブ会長の開会の点鐘でスタート、開会のセレモニーの後エイブルクラブの入会式が執り行われました。上澤正廣EMC委員長の司会進行で、山根弘丈会長による入会式辞で進行、入会者の荻野貴司君、中川泰人君が紹介されました。その後お二人の力強い宣誓でワイズメンとして入会されました。

西日本区から塚本勝己EMC事業主任、(ウエスタクラブ)、青倉国土京都部EMC事業主査(ウイングクラブ)にお越し頂きお祝いのお言葉をしていただきました。エイブルクラブとして久々の入会式、山根弘丈会長の意気込みを大切に育てたいです。

続いて荒賀知子氏に講演をしていただきました。荒賀知子さんは空手道一家で厳しい父親の下で修練され、2006年、2008年の世界空手道選手権大会で2度優勝され2008年の大会で敗退されたことで引退されました。現在は教育現場で若い人たちのご指導をされています。弟さんの荒賀龍太郎氏はオリンピックで銅メダルを獲得されました。ご講演の内容はご自分の歩んでこられた空手道をお話していただきました。

グローバルクラブから30周年記念例会(2023年2月12日開催)、ツービークラブから25周年(2023年3月25日開催)のアピールをされました。まだコロナ終息とは言えない中での4クラブ合同例会、ワイズメンバーの懇親を深めることができました。



新入会員のご紹介



入会日:2022年11月29日
荻野 貴史ys
 (おぎの たかふみ)
 1977年6月(46歳)
 京都府宇治市木幡熊小路

有限会社ベストパートナー京都
 住所同上



入会日:2022年11月29日
中川 泰人ys
 (なかがわ やすと)
 1976年4月(47歳)
 京都市伏見区桃山町大島

有限会社 中川商店
 京都市南区上鳥羽北戒光町

2022年12月11日(日曜日)第16回京都YMCAチャリティーランが3年ぶりに、鴨川河川敷から嵐山運動公園グランドに拠点を移して開催されました。開催予定は、今年9月19日でしたが、台風の影響で中止となり12月11日となりました。

コロナ感染による影響で2年間開催されませんでした。規制が緩和され初めて嵐山運動公園で開催できることになりました。競技内容はクォーターマラソン、小学生駅伝、なかよしラン&ウォークの3種目でした。初めての会場のため早朝より9時30分の開会式に合わせテント設営、走路の確認、受付の準備、参加者への物品準備と多くのワイズメンにお手伝いいただき9時30分から開会することが出来ました。

競技参加者102名、90名のボランティアの参加があり無事終了しました。

支援金は競技参加費、寄付金合わせて1,398,000円でした。

